

Digital Color Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UP-D21MD

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～5 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

15 ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

はじめに

本機の特長	6
主な使用例	6
各部の名称と働き	6
フロントパネル	6
裏面	7
付属品を確認する	7
組み立てる	8
接続する	8
USB ポートにつなぐ	8
パソコンにプリンタードライバーをインストールする ..	9

操作

プリントする前に	10
インクリボンを取り付ける	10
プリント紙を入れる	12
プリントする	13

その他

本機の性能を保持するために	15
使用上のご注意	15
お手入れ	15
使えるインクリボンとプリント紙について	16
主な仕様	17
保証書とアフターサービス	18
故障とお考えになる前に	18
フロントパネルのランプについて	19
つまった紙を取り除く	20
索引	21



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口に交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられ当ているアース端子に接続してください。

安全アースを取付けることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当にご相談ください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となります。



指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となります。
十分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

本体内部に手を入れない

ドアが開いている時に本体内部に手を入れると、やけどやけがの原因となります。



注意

フロントパネルを開けたままにしておかない

フロントパネルを開けたままにしておくとぶつかけたり、落下してけがの原因となります。



注意

本体を支えて給紙トレーを着脱する

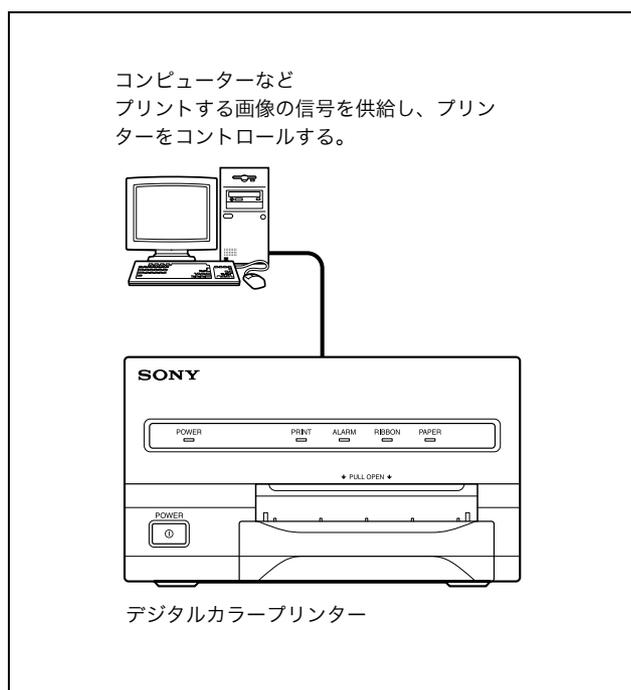
給紙トレーを着脱するときに、本体が動き落下してけがの原因となります。

本機の特長

デジタルカラープリンター UP-D21MD は、コンピューターなどの画像データを A6 版のプリント紙に、フルカラー（各色 256 階調、1670 万色）、高解像度（約 403dpi 精密ヘッド使用）、高速でプリントする昇華型デジタルカラープリンターです。

主な使用例

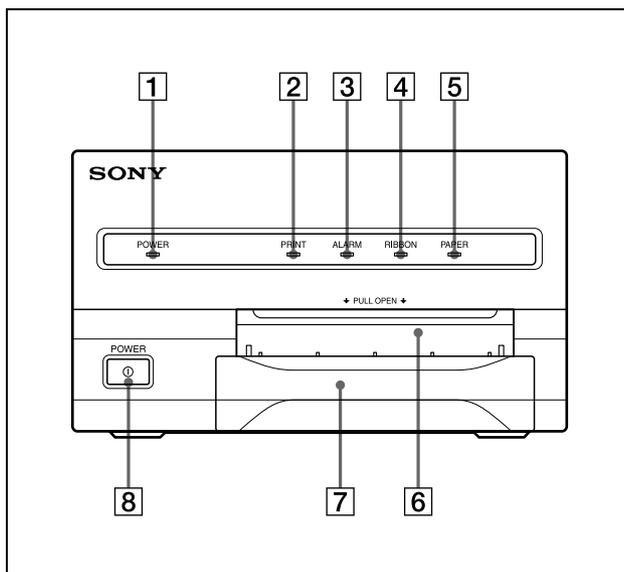
プリンターの主な使用例を下図に示します。



各部の名称と働き

() 内の数字は、参照ページを示します。

フロントパネル



- 1 POWER ランプ**
電源を入れると点灯します。
- 2 PRINT ランプ (19)**
プリント中点灯します。
- 3 ALARM ランプ (19)**
紙づまりなど、エラーが起きたときオレンジ色に点灯します。
- 4 RIBBON ランプ (19)**
インクリボンに係わるエラーが起きたとき点灯します。
- 5 PAPER ランプ (19)**
プリント紙に係わるエラーが起きたときに点灯します。

PRINT ランプ、ALARM ランプ、PAPER ランプ、RIBBON ランプの点灯または点滅状態でエラーの発生箇所、原因がわかります。詳しくは、「フロントパネルのランプについて」(19 ページ)をご覧ください。

6 排紙口

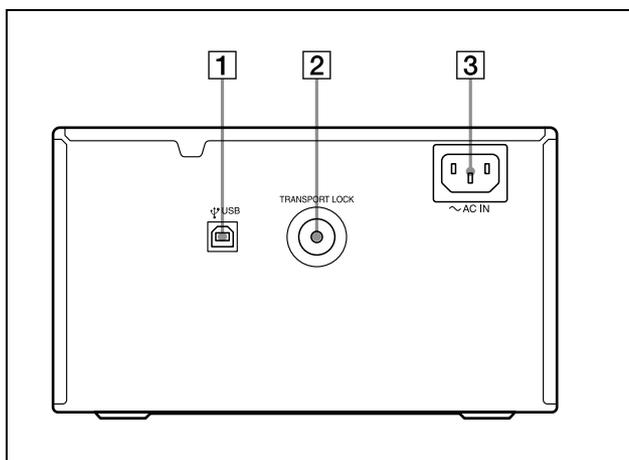
プリント画が排出されます。

7 給紙トレイ (8)

プリント用紙を入れておくトレイです。

8 ① POWER スイッチ (13)

本機の電源を ON/OFF (入/切) します。

裏面**1 USB 端子 (8)**

パソコンやその他の周辺機器を接続します。接続には、付属の USB ケーブルをお使いください。

2 TRANSPORT LOCK (輸送モード) ボタン (15)

感熱ヘッドを固定するときに押します。プリンター輸送時は、このボタンを押して感熱ヘッドを固定してください。

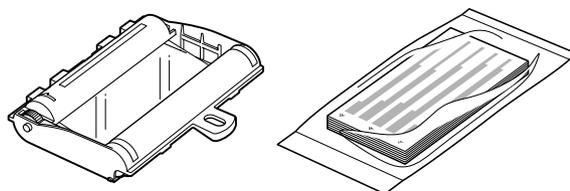
3 ～ AC IN (電源入力) 端子

電源コード (付属) をつなぎます。

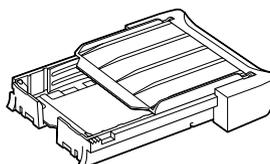
付属品を確認する

付属品を確認してください。

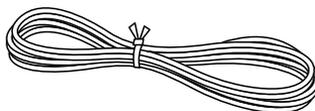
インクリボンとプリント紙 (1) ^{a)}



給紙トレイ (1)



電源コード (1)



AC プラグ交換アダプター 3P → 2P (1)
 CD-ROM (プリンタードライバー / 取扱説明書ディスク) (1)
 USB ケーブル (1)
 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1)
 ご使用になる前に (1)
 ソフトウェア使用契約書 (1)
 保証書 (1)
 業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)

a) 付属のインクリボンとプリント紙は動作確認用としてお使いください。

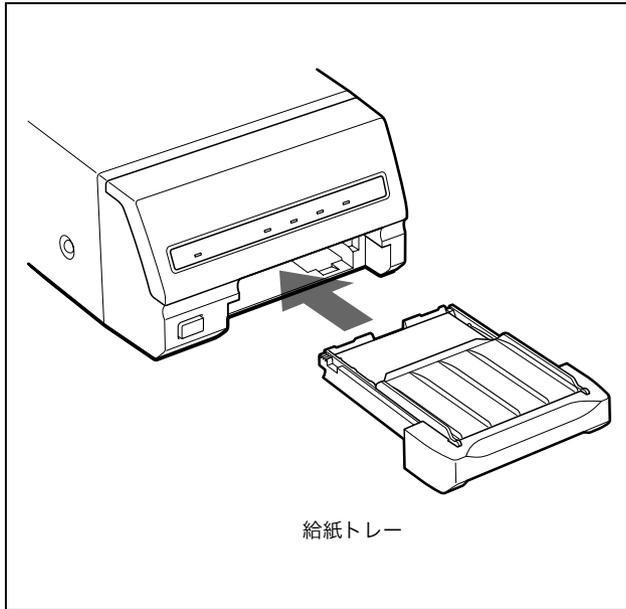
ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンと給紙トレイを取り外してください。
- 輸送の際は、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。詳しくは「輸送するときは」(15 ページ)をご覧ください。

組み立てる

給紙トレイを取り付けるには

インクリボン、プリント紙の取り付けについて詳しくは、「インクリボンを取り付ける」（10 ページ）および「プリント紙を入れる」（12 ページ）をご覧ください。



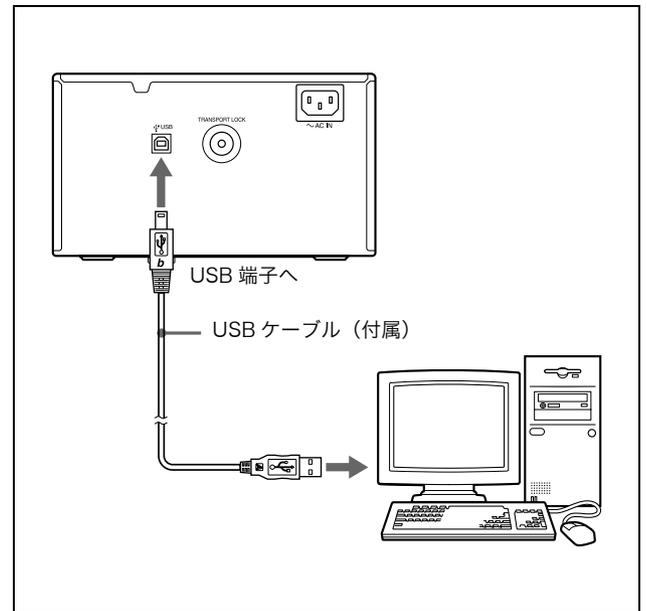
接続する

付属の USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続してから、電源コードを接続します。接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

⚠注意

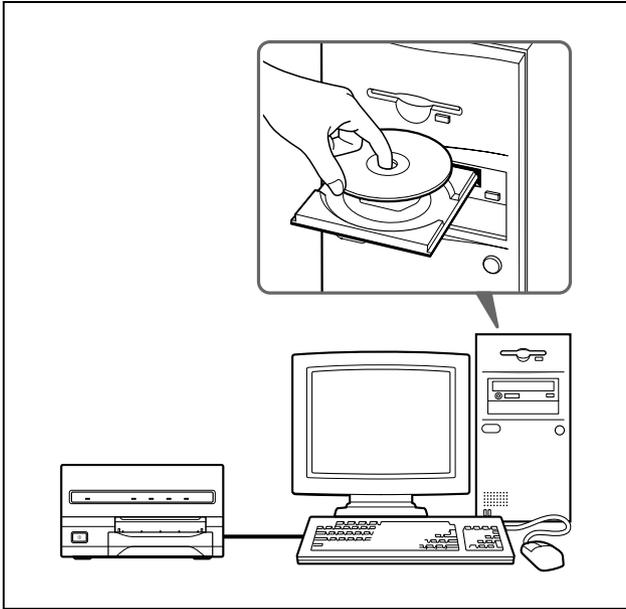
- ・パソコンに接続するときは、本機およびパソコン、モニターなどパソコンに接続している周辺機器の電源を必ず切ってください。
- ・パソコンに接続するときは、本機の電源コードを外し、パソコンに接続してから電源コードを接続してください。
- ・パソコンの説明書も併せてご覧ください。
- ・ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
- ・付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応していません。
- ・ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。

USB ポートにつなぐ



パソコンにプリンタードライバーをインストールする

付属のプリンタードライバーをインストールします。インストールのしかたについては、プリンタードライバーディスク中の「ReadMe (Japanese)」をお読みください。



プリントする前に

初めてプリンターをお使いになる場合は、付属品を確認し、組み立ててからお使いください。詳しくは「組み立てる」(8ページ)をご覧ください。

ここでは、プリンターの接続が済んで、実際のプリントを始める前の準備として、プリントに必要な次の操作について説明します。

- ・インクリボンを取り付ける(下記)
- ・プリント紙を入れる(12ページ)

これらの操作は、日常のプリント操作前に毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

ご注意

- ・電源のオン/オフに関わらずインクリボンを交換したりプリント紙を取り付けることができます。なお、交換や取り付け時に電源を切ると、記憶した画像が消えてしまいますご注意ください。
- ・インクリボンとプリント紙はプリントパックとしてセットになっています。取り付けの前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください(「使えるインクリボンとプリント紙について」(16ページ))。
- ・インクリボンとプリント紙は、どちらかが残っていても新しいインクリボンとプリント紙を同時に交換してください。
- ・必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。(「使えるインクリボンとプリント紙について」(16ページ)) 専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

インクリボンを取り付ける

インクリボンをインクリボン収納部に取り付けます。

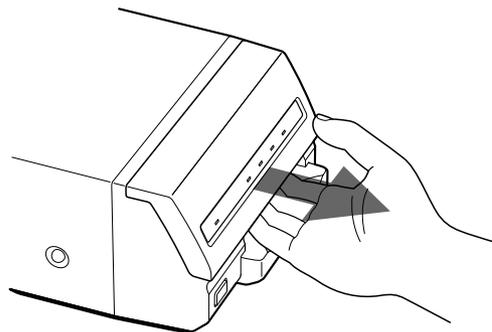
ご注意

- ・プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドの位置がずれている場合があります。フロントパネルを閉じた状態で電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンを取り付けてください。
- ・輸送の際は、インクリボンはずしてください。また、内部の感熱ヘッドも固定してください。(15ページ)
- ・印刷されずにプリント紙が排出され、RIBBONランプが点灯した場合は、インクリボンが無くなりましたの

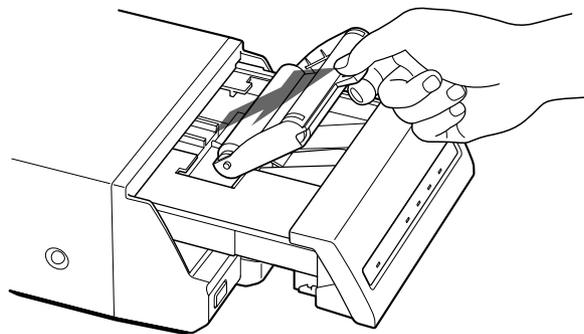
でリボンの交換をしてください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。

- ・使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・インクリボンを巻き戻して使用しないでください。
- ・インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・付属のインクリボンとプリント紙は、動作確認用としてお使いください。

- 1 フロントパネルを手前に引いて開けます。



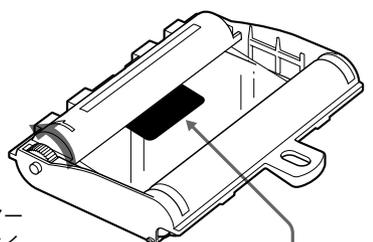
- 2 使用済みインクリボンを取り出します。初めてプリンターをお使いになる場合は、この操作は不要です。



3 インクリボンのたるみを取ります。

ご注意

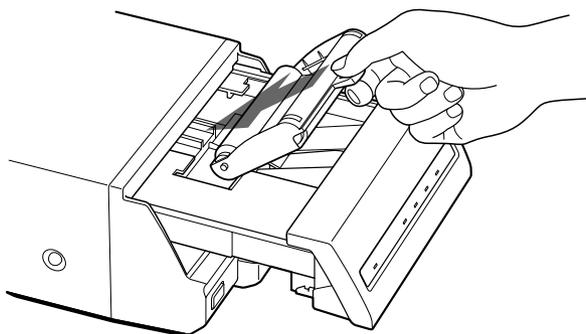
たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。



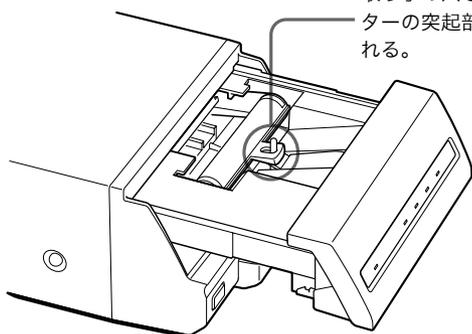
スタート位置マークが図の位置にくるようにギアを矢印の方向に回してたるみをとる。

スタート位置マーク

4 インクリボンを入れる。



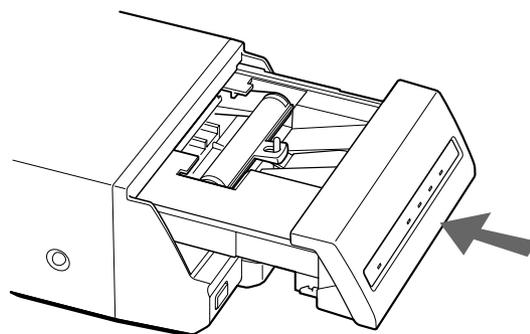
取っ手の穴をプリンターの突起部に入れる。



5 「PULL OPEN」部を押してフロントパネルを閉じます。

⚠ 注意

- ・フロントパネルを開けたままにしておくとぶついたり、プリンターが落下する可能性がありますのでご注意ください。
- ・フロントパネルは、きちんと確実に閉めてください。フロントパネルがきちんと閉じていないと、プリント中や感熱ヘッドのクリーニング中に紙詰まりや故障の原因となることがあります。



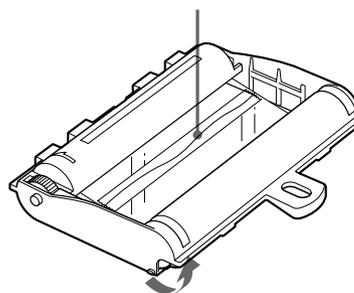
インクリボンを保存するときは

- ・温度や湿度の高いところでの保存は避けてください。
- ・使用途中で長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋に入れて保存してください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

セロハンテープ



セロハンテープが見えなくなるまで巻取り側のギアを矢印の方向に回してインクリボン巻取る。このとき、インクリボンがたるまないようご注意ください。

プリント紙を入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント面には手を触れないように注意してください。

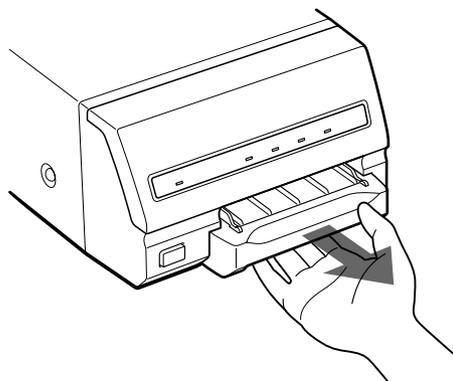
ご注意

- ・プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙づまりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは、「使えるインクリボンとプリント紙について」（16 ページ）をご覧ください。
- ・印刷されないでプリント紙が排出され、RIBBON ランプが点灯した場合は、インクリボンがなくなりましたのでリボンの交換をし、プリント紙を補給してください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。

⚠ 注意

給紙トレイを着脱するときにプリンターが動いて落下する可能性がありますのでご注意ください。

1 給紙トレイを取り出します。



2 プリント面を上にして保護紙と一緒にプリント紙を給紙トレイに入れます。

プリントパック UPC-21L をお使いの場合：給紙トレイの仕切りを倒してお使いください。

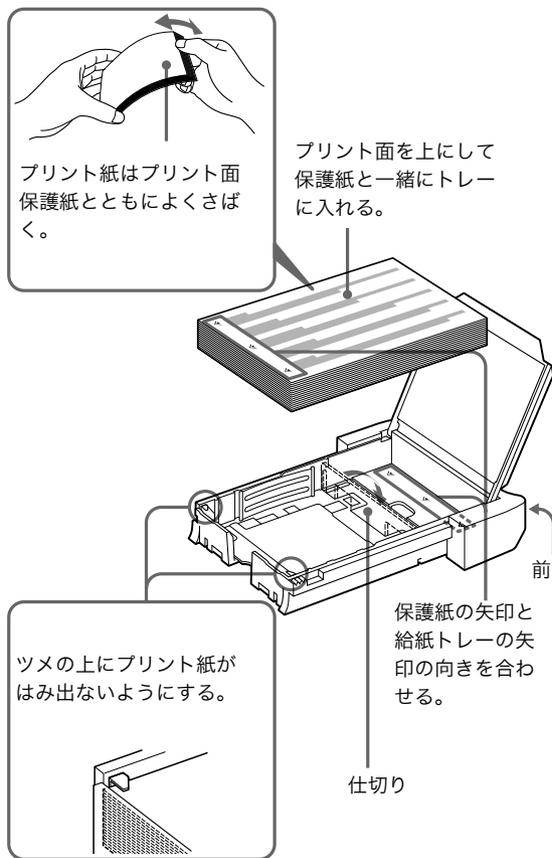
プリントパック UPC-21S をお使いの場合：給紙トレイの仕切りを立ててお使いください。

ご注意

- ・プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなりましたら、プリント紙を補給してリボンを交換してください。なお、途中でプリント紙を補給した場合、紙づまりの原因になります。
- ・プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着しますとプリント面に汚れを生ずることがあります。取り扱

うときは、プリント面保護紙を付け、プリント面が汚れないようにします。

- ・給紙トレイにプリント紙を入れるときは、保護シートに記載されている矢印の向きをトレイの矢印の向きと合わせて入れてください。また、トレイに紙が完全に収まるよう正しく入れてください。反りのある紙を使うと、トレイから紙がはみ出し、給紙できないことがあります。必ず、プリント面保護紙（白色で注意文が印刷されています）ごとさばいて反りをなくしてから使ってください。
- ・ひとつの給紙トレイにタイプの異なるプリント紙を混在させないでください。



3 保護紙を取り除きます。

4 給紙トレイをカチッと音がするまで差し込みます。

ご注意

給紙トレイが奥まで差し込めない場合、給紙トレイ口にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。

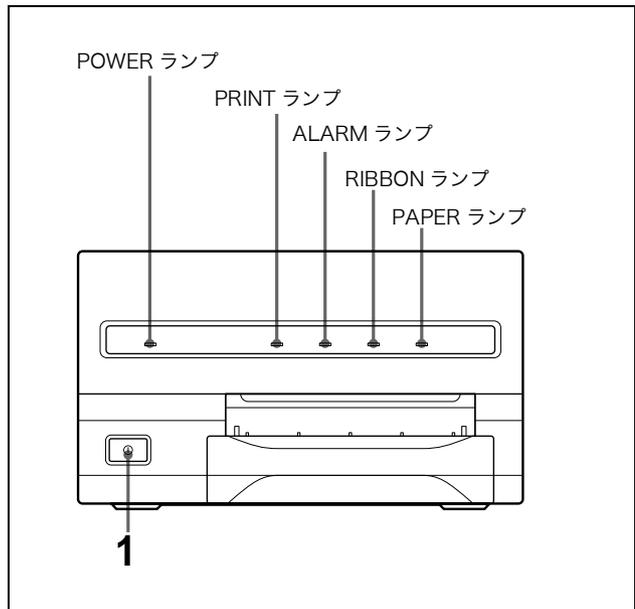
プリント紙を保存するときは

- ・湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・使用途中で本体から取り外して長期保存する場合は、プリント紙の入っていた袋などに入れて保存してください。

プリントする

プリントする前に

- ・プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。(13 ページ)
- ・プリント紙、インクリボンが正しく取り付けられていますか。(10、12 ページ)
- ・プリンタードライバーはインストールされていますか。(9 ページ)



- 1 プリンターの電源スイッチを入れます。
POWER ランプが点灯します。
PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON ランプ、
PAPER ランプが同時に点灯してから消灯します。

ご注意

- ・プリンターの電源を最初に入れます。
- ・パソコンがハードディスクやフロッピーディスクにアクセス中に、電源を入れたり切ったりしないでください。

- 2 コンピューターの電源を入れます。
- 3 コンピューターからプリント操作を行います。
コンピューターから画像データを受信中は、PRINT
ランプが点滅します。
プリント中は、PRINT ランプが点灯します。

ご注意

- ・プリント中の用紙が見えますが、途中でプリント紙を無理に引き出したりしないでください。

- ・プリントの途中で電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- ・連続プリントの設定ができるようになっていますが、プリント排紙口に複数枚プリント画がたまるとプリントの途中で止まってしまう場合があります、ALARM ランプが点灯します。そのような場合は、排紙口にたまったプリント画を取り除いてください。自動的にプリント動作が再開され、残りの枚数がプリントされます。

プリントできないとき

ALARM ランプ、PAPER ランプ、RIBBON ランプが点灯しているときは操作できません。

詳しくは、「フロントパネルのランプについて」（19 ページ）をご覧ください。

プリント中にプリント紙またはインクリボンがなくなったとき

プリンターはプリント動作を終了します。新しいプリント紙およびインクリボンをセットすると自動的にプリント動作が再開され、残りの枚数がプリントされます。

プリント画を保存するときは

- ・直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色する場合があります。
- ・プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑剤を含むものに触れさせないでください。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「**警告**」(4 ページ)、「**注意**」(5 ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは

本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品を外し、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

- 1 インクリボンと給紙トレーを取り外します。
- 2 内部の感熱ヘッドを固定します。
 - ① プリンターの電源スイッチを入れます。
 - ② TRANSPORT LOCK ボタンを押します。
PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON ランプ、PAPER ランプが点滅し、プリンターの動作音が約 2 秒続きます。
 - ③ プリンターの動作音が止まったら、電源スイッチを切ります。
感熱ヘッドが固定されます。

感熱ヘッドの固定を外すには

再度電源を入れます。感熱ヘッドが移動し、インクリボンを取り付けることができるようになります。

設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- ・ 直射日光の当たるところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 極端に暑いところや寒いところ
- ・ 振動の多いところ
- ・ ほこりの多いところ
- ・ 不安定なところ

- ・ 本体の上面および左側面にある通風孔をふさがないでください。火災や故障の原因となる場合があります。
- ・ 危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットのクリーニング

- ・ キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと、乾いた布でからぶきしてください。
- ・ シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

感熱ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが生じるなどの印画不良が生じた場合に、付属のクリーニングカートリッジでクリーニングしてください。

プリント画の品質を維持するために、プリント紙 10 パック程度を目安に定期的にクリーニングなさることをおすすめいたします。

- 1 プリンター本体から給紙トレーを取り出し、プリント紙を取り除きます。
- 2 クリーニングシートの光沢面を下にして、給紙トレーに入れます。

ご注意

カラープリントパック UPC-21S/21L に付属のクリーニングシートをお使いください。使用したクリーニングシートは再使用しないでください。

- 3** クリーニングカートリッジをプリンターに取り付けます。
取り付けかたはインクリボンと同じです。詳しくは、「インクリボンを取り付ける」(10 ページ)をご覧ください。
クリーニングカートリッジと給紙トレイを取り付けると、RIBBON ランプが消灯し、自動的にクリーニングが始まります。
クリーニングが終了すると、RIBBON ランプが点灯します。

ご注意

プリンターの電源が入っている状態でクリーニングカートリッジを取り付けた場合にクリーニングが開始されます。
プリンターの電源が入っていない場合は、クリーニングカートリッジを取り付けた後プリンターの電源を入れてもクリーニング動作には入りません。

使えるインクリボンとプリント紙について

インクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

カラープリントパック UPC-21S

240 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

80 枚分のプリント用インクリボン×3 巻

80 枚分のプリント紙 (90 × 100 mm) × 3 袋

カラープリントパック UPC-21L

200 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

50 枚分のプリント用インクリボン×4 巻

50 枚分のプリント紙 (100 × 144 mm) × 4 袋

ご注意

プリント紙がなくなりましたら、プリント紙補給と同時にインクリボンも交換してください。

主な仕様

電源	AC 100 V 10 %、50/60 Hz
消費電力	約 180 W
動作温度	5 °C ~ 35 °C
動作湿度	20 % ~ 80 %
保管／輸送時温度	-20 °C ~ 60 °C
保管／輸送時湿度	20 % ~ 90 %
最大外形寸法	約 212 × 125 × 395mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約 6.5kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型
プリント画素数	UPC-21S 使用時、フル画面プリント： 1520 × 1144 ドット UPC-21L 使用時、フル画面プリント： 2000 × 1520 ドット)
プリント階調	256 階調処理 (イエロー、マゼンダ、シアン)
プリント時間	UPC-21S 使用時 約 19 秒 (高速で印画) UPC-21L 使用時 約 29 秒 (高速で印画)
入力端子	AC IN (電源入力用)
サーマルヘッド	15.87 ドット /mm
付属品	お試し用カラープリントパック (1) 給紙トレイ (1) USB ケーブル (1) 電源コード (1) AC プラグ変換アダプター (1) 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1) CD-ROM (プリンタードライバー／取扱説明書ディスク) (1) ご利用になる前に (1) ソフトウェア使用契約書 (1) 保証書 (1) 業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリ	カラープリントパック UPC-21S 240 枚分 (80 枚 × 3) カラープリントパック UPC-21L 200 枚分 (50 枚 × 4)

USB インターフェース

データ転送方式 Universal Serial Bus Specification
Revision 1.1 準拠

USB 端子のピン配列

I/O	信号名	機能
	VCC	ケーブル電源、最大電流 100mA
I/O	-Data	データ
I/O	+Data	データ、1.5kΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
	GROUND	ケーブルグランド

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用製品ご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーサービス窓口にご相談なさるときは、次のことをお知らせください。

- ・ 型名：UP-D21MD
- ・ 故障の内容：できるだけ詳しく
- ・ 購入年月日

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因・処置
コンピューターから画像を転送してもプリントしない。	・ POWER スイッチが OFF になっていない。 → POWER スイッチを ON にします。 ・ 接続が正しくされていません。 → 接続を確認します。(8 ページ)
プリントできない。	フロントパネルのランプにエラーの状態が表示されています。 → 「フロントパネルのランプについて」(19 ページ) をご覧になって、適切な対処を行ってください。
プリント画の色が薄い。	プリント紙の入れかたが間違っています。 → プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「プリント紙を入れる」(12 ページ)
インクリボンが入らない。	・ 本機で使用できないインクリボンを取り付けようとしています。 → 本機専用のインクリボンを取り付けてください。「使えるインクリボンとプリント紙について」(16 ページ) ・ 感熱ヘッドが固定されています。 → プリンターの電源を入れてください。感熱ヘッドが移動し、インクリボンが取り付けられるようになります。
印刷されないで紙が排出される。	リボンがなくなりました。リボンを確認してください。 → リボンを交換してください。「インクリボンを取り付ける」(10 ページ) 排出された紙は使用しないでください。

フロントパネルのランプについて

エラーが起きると PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON ランプおよび PAPER ランプが点灯または点滅します。点灯・点滅の状態エラーの発生箇所、原因がわかります。

各ランプの点灯・点滅状態は以下のとおりです。

ランプ		原因と対策
点灯	点滅	
PRINT		プリント中
	PRINT	画像データを受信中
	PRINTa)	感熱ヘッドがプリント可能な温度になるよう待機中
RIBBON		<ul style="list-style-type: none"> インクリボンが終わりにになりました。 →新しいインクリボンを取り付けてください。(10 ページ) (インクリボンは再使用できません。)何もプリントされずに白いプリント紙が排出された場合は、そのプリント紙はご使用にならないでください。 インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。(11 ページ)
PAPER		<ul style="list-style-type: none"> プリント紙がありません。 →プリント紙を入れてください。(12 ページ) 給紙トレイが取り付けられていません。 →給紙トレイを取り付けてください。(8 ページ)
ALARM、 PAPER		<p>間違った組み合わせのインクリボンとプリント紙が取り付けられています。</p> <p>→正しい組み合わせでご利用ください。(16 ページ)</p>
ALARM、 RIBBON		<p>プリント中に、インクリボンまたはプリント紙がなくなり、新しく交換したとき、異なった種類のカラープリントパックがセットされました。</p> <p>→使用していたものと同じ種類のカラープリントパックをセットしてください。</p>

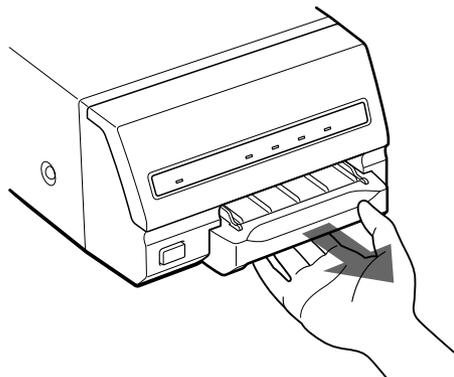
ランプ		原因と対策
点灯	点滅	
ALARM		<ul style="list-style-type: none"> フロントパネルが開いています。 →フロントパネルを確実に閉めてください。 プリンター内部で紙づまりが起きました。 →つまった紙を取り除いてください。(20 ページ) 給紙トレイの上にプリント画がたまりました。 →つまったプリント紙を取り除いてください。

a) この場合 PRINT ランプは遅い点滅を繰り返します。

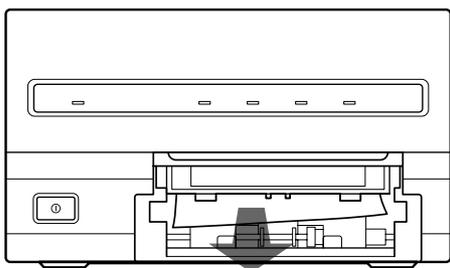
つまった紙を取り除く

PRINT ボタンを押したあとで紙づまりが起きたときは、次のよう
にしてつまった紙を取り除いてください。

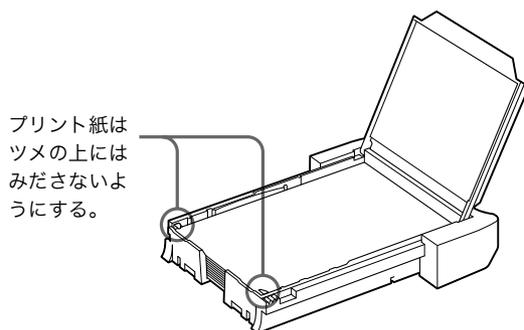
- 1 給紙トレーを取り出します。



- 2 途中でつまっている紙を取り出します。



- 3 プリント紙を正しくセットします。
手順2で戻したプリント紙はご使用にならないで
ください。



ご注意

本機で推奨しているプリントパック以外のプリント
紙を使用しないでください。

- 4 給紙トレーを差し込みます。

索引

あ

安全のために..... 2

い

インクリボン

取り扱い上の注意..... 10

取り付ける..... 10

保存上の注意..... 11

途中で切れてしまったとき..... 11

インクリボンとプリント紙..... 16

お

お手入れ

キャビネットのクリーニング..... 15

感熱ヘッドのクリーニング..... 15

主な仕様..... 17

か

各部の名称と働き

フロントパネル..... 6

感熱ヘッド

クリーニング..... 15

固定..... 15

固定を外す..... 15

く

組み立て..... 8

クリーニング

感熱ヘッド..... 15

キャビネット..... 15

こ

故障とお考えになる前に..... 18

この取扱説明書について..... 6

し

使用上のご注意

結露..... 15

設置時..... 15

注意..... 5

輸送時..... 15

警告..... 4

使用例..... 6

せ

接続..... 8

設置するときのご注意..... 15

そ

操作..... 10

と

特長..... 6

は

はじめに..... 6

ふ

付属品..... 10

確認する..... 7

組み立てる..... 8

プリンタードライバー..... 9

プリント紙

入れかた..... 12

つまった紙を取り除く..... 20

保存上の注意..... 13

U

USB

USB インターフェース..... 17

USB ポート..... 8

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ